

プレスリリース

報道・教育担当 各位

2016/6/17

名古屋学院大学学長 木船久雄

名古屋学院大学  
現代社会学部主催 公開シンポジウム

## 森からみた日本

～「山の日」を前に森との付き合い方を考える～

名古屋学院大学現代社会学部では、7月6日(水)13時30分～16時10分、名古屋学院大学名古屋キャンパス白鳥学舎クラインホールにて、公開シンポジウム「森からみた日本」を開催いたします。一般の方も参加費無料でご参加いただけます。

### 【趣 旨】

日本は世界有数の森林国である。近年の日本の森林は、木材を生産するだけでなく、自然保護運動や森林ボランティアなどの市民を巻き込んだ活動の場となってきた。さらに最近は森林浴や人間が自然と交流する場（ハピネス創造の場）として注目され、森の樹木が水系を通じて海を豊かにすることも明らかになってきた。「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する」ことを趣旨に今年の8月11日から「山の日」が施行されるが、これを機会に地域から日本を再生させるための森林との付き合い方を考える。

### 【講演者・パネラー】



鈴木 和雄氏  
株式会社東海木材相互市場・代表取締役社長



畠山 重篤氏  
NPO 法人「森は海の恋人」理事長／京都大学フィールド科学教育研究センター・社会連携教授

### 【司会・コーディネータ】

今村 薫 名古屋学院大学現代社会学部・教授

### 【プログラム】

- 13:30～13:35 現代社会学部長あいさつ
- 13:35～13:50 趣旨説明（今村薫）「現代社会における日本の森の役割」
- 13:50～14:30 講演者 鈴木 和雄氏  
演題「コンクリート社会から緑の社会へ―戦後の政策と日本の山」
- 14:30～15:30 講演者 畠山 重篤氏  
演題「森は海の恋人 人の心に木を植える」
- 15:40～16:10 パネル・ディスカッション  
「森の多様な側面と地域再生」  
【パネラー】鈴木 和雄氏、畠山 重篤氏 【司会】今村 薫

< 名古屋学院大学現代社会学部主催 公開シンポジウム「森からみた日本」 >

■日時：7月6日(水) 13:30～16:10 (開場 13:00)

■会場：名古屋学院大学名古屋キャンパス白鳥学舎 翼館4階「クラインホール」

⇒ 地下鉄名港線「日比野」駅・地下鉄名城線「西高蔵」駅 徒歩約8分 駐車場はありません。

■定員：300名程度(参加無料・申込不要)

■主催：名古屋学院大学現代社会学部